

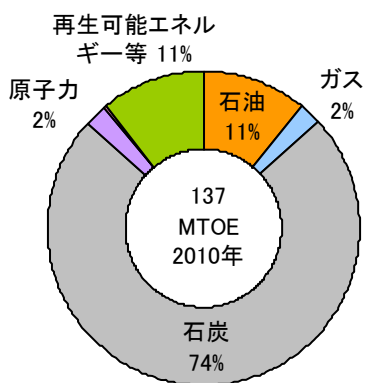
5-5 南アフリカ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー総供給量 (2010年) : 137 百万 TOE (日本の 0.30 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2010年) : 2.74 TOE (日本の 0.76 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 119%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 346.8 CO₂ 換算 ton (日本の 30.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 6.94 CO₂ 換算 ton (日本の 77.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 石炭 118 年

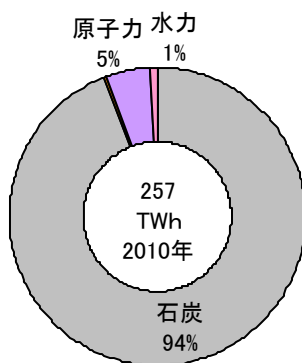
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: South Africa

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: South Africa

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Editoin

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 南アフリカのエネルギー政策は、2009年5月の省庁再編以降、エネルギー省 (Department of Energy) が所管している。

(2) 基本政策

- 2008年に制定された国家エネルギー法が南アフリカのエネルギー政策の根幹となっており、その中ではエネルギーセキュリティの確保と貧困層のエネルギーアクセスの保証が最重要目標として謳われている。
- エネルギー省は、国家エネルギー法に基づくエネルギー政策における課題として、エネルギーアクセス、貧困層のために安価で信頼できるエネルギー供給、一次エネルギー源の多様化と石炭依存の軽減、民間エネルギー企業に対する管理・指導、エネルギー部門における環境保護責任、を重視した政策を展開している。

(3) 最近の動向

- 非在来型資源の開発対象として、Karoo Basin に対する関心が高まってきており、Shell、Sasol などが同地域の開発ライセンスを取得している。しかし、シェールガス開発における水圧破碎攻法の利用に伴う環境面での懸念が根強いいため、同地域の探鉱活動は認められているものの、水圧破碎攻法の採用は2011年以降、禁止されている。
- 2012年8月にLonmin社のMarikana鉱山（白金を生産）において、待遇改善を求める労働者と警察との間で衝突がおき、34名が死亡した。これを契機に南アフリカ全土に労働者によるストライキが拡散し、2012年10月にはトヨタ自動車の現地工場も部品生産事業者におけるストライキによって現地工場の生産停止を余儀なくされる事態となっている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 我が国との輸入実績では、南アフリカからの石炭の輸入は近年減少傾向にあり、2011年はプラチナ、パラジウムなど非鉄金属の輸入が輸入額全体の約6割を占めている。

2. 主要エネルギー指標

(2010 年)

(1)	一次エネルギー総供給量	137	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	2.74	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.47	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	119	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	346.8	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	6.94	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	74	%
	石油	11	%
	ガス	2	%
	原子力	2	%
	水力	0	%
	再生可能エネルギー等	11	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-19	%
(9)	石油の輸入依存度	99	%
(10)	輸入原油の中東依存度 (2011)	61	%
(11)	原油輸入先 (2011)	第 1 位	イラン (27%)
		第 2 位	サウジアラビア (27%)
		第 3 位	ナイジェリア (21%)

(出所) (1)～(4) および (7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)～(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition

(10)～(11) は SAPIA 年次報告書